

第 80 回 通 常 総 会 の 開 催

第 80 回通常総会が、令和 5 年 6 月 27 日、明治記念館 2 階「蓬莱の間」において開催された。

本総会では、議案として、「第 1 号議案 令和 4 年度事業報告の件」、「第 2 号議案 令和 4 年度決算の件」、「第 3 号議案 令和 5 年度事業計画の件」、「第 4 号議案 令和 5 年度予算の件」、「第 5 号議案 令和 5 年度会費及び賛助会費の件」、「第 6 号議案 役員選任の件」について審議が行われ、異議なく承認された。

第 80 回通常総会の議事概要は下記のとおり。

第 80 回通常総会の議事概要

I 日 時 令和 5 年 6 月 27 日(火) 13:30～16:30

II 場 所 明治記念館 2 階「蓬莱の間」

III 出席者

1 正会員 全国 55 都道府県市獣医師会

2 日本獣医師会

【会 長】 藏内勇夫

【副 会 長】 砂原和文, 村中志朗

境 政人(兼専務理事)

【地区理事】 高橋 徹(北海道) 浦山良雄(東北)

鳥海 弘(関東) 上野弘道(東京)

石黒利治(中部) 吉岡 豊(近畿)

田中尚秋(中国) 佐野明彦(四国)

草場治雄(九州)

【職域理事】 佐藤れえ子(学術・教育・研究)

大林清幸(小動物臨床)

横尾 彰(家畜共済)

宮澤 隆(家畜防疫・衛生)

佐伯 潤(動物福祉・愛護)

【特任理事】 栗本まさ子

【監 事】 宇佐美 晃, 小山田富弥, 柴山隆史

【顧 問】 酒井健夫

【欠 席】 西川治彦(産業動物臨床)

加地祥文(公衆衛生)

3 来 賓

【衆議院議員】

林 芳正(外務大臣, 自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長)

森 英介(衆議院議員, 自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行)

古屋範子(衆議院議員, 公明党副代表, 公明党獣医師・動物看護師議員懇話会会長)

河西宏一(衆議院議員, 公明党獣医師・動物看護師議員懇話会)

【参議院議員】

松山政司(参議院議員, 参議院自由民主党政策審議会長,

自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長)

片山さつき(参議院議員, 自由民主党ペット関連産業人材育成議員連盟会長)

古川俊治(参議院議員, 自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長代理)

自見はなこ(参議院議員, 自由民主党獣医師問題議員連盟)

【農林水産省】

森 健(農林水産省 消費・安全局長)

熊谷法夫(大臣官房審議官兼消費・安全局付兼輸出・国際局付)

伏見啓二(大臣官房審議官兼畜産局付)

郷 達也(消費・安全局畜産安全管理課長)

沖田賢治(消費・安全局動物衛生課長)

吉田和弘(消費・安全局畜産安全管理課畜産安全情報分析官)

白尾紘司(消費・安全局畜産安全管理課課長補佐)

古庄宏忠(経営局保険監理官付保険監理官補佐)

石川日向(消費・安全局畜産安全管理課小動物獣医療企画係長)

【環 境 省】

奥田直久(環境省自然環境局長)

野村 環(自然環境局総務課動物愛護管理室長)

佐藤暢彦(自然環境局総務課動物愛護管理室指導調整専門官)

【厚生労働省】

佐々木昌弘(厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官)

三木 朗(医薬・生活衛生局食品監視安全課長)

今川正紀(健康局結核感染症課感染症情報管理室長)

川越匡洋(医薬・生活衛生局食品監視安全課輸出食品安全対策官)

【文部科学省】

西條正明(文部科学省大臣官房審議官)

降籙みを(高等教育局専門教育課教育振興係長)

【獣医学系大学】

佐藤礼一郎(宮崎大学農学部獣医学科長)

伊藤真美(酪農学園大学副学長)

松本浩毅（日本獣医生命科学大学副学長）

【関係団体等】

姫田 尚（公益社団法人 中央畜産会副会長）

松本博紀（公益社団法人 畜産技術協会専務理事）

井上 眞（公益社団法人 日本装蹄協会会長）

池田一樹（公益社団法人 日本動物用医薬品協会理事長）

宗像俊太郎（公益社団法人 日本動物病院協会会長）

東海林克彦（公益社団法人 日本愛玩動物協会会長）

田畑直樹（公益財団法人 日本動物愛護協会理事長）

伊藤 進（一般社団法人 日本家畜人工授精師協会事務局長）

小田島隆（一般社団法人 全国動物薬品器材協会理事長）

長崎淳一（一般社団法人 日本小動物獣医師会会長）

横田淳子（一般社団法人 日本動物看護協会会長）

IV 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告の件（報告事項）

第2号議案 令和4年度決算の件（承認事項）

第3号議案 令和5年度事業計画の件（報告事項）

第4号議案 令和5年度予算の件（報告事項）

第5号議案 令和5年度会費及び賛助会費の件（承認事項）

第6号議案 役員選任の件（承認事項）

V 概 要

【開 会】

駒田事務局長から、開会時において定款第20条の規程に基づき、正会員である地方獣医師会の過半数が出席しており、本総会が成立する旨が告げられた後、日本獣医師会・獣医師倫理綱領「獣医師の誓い—95年宣言」が一同により斉唱された。

【会長挨拶】



藏内会長から開会挨拶が行われた（巻頭言参照）。

【来賓ご挨拶（大要）】

来賓から次のとおり挨拶が行われた。

〈自由民主党ワンヘルス推進議員連盟会長 林 芳正外務大臣〉

ご紹介を賜りました外務大臣の林芳正でございます。こんにちは、この第80回通常総会がフェース・トゥ・



フェースでこうして開かれますこと、本当に心よりお喜びを申し上げます。農林水産大臣時代にご厚誼を得まして、藏内会長とは長いお付き合いですが、その当時、われわれがCOVID-19を経験するも随分前から、ワンヘルスの必要性に言及されておられたのを

今思い出すわけでございます。

われわれ素人には獣医師と医師が連携しワンヘルスの理念をもって人と動物との絆、その健康を守ることが重要であると理解しているつもりでございましたけれども、実際にパンデミックが発生して、なるほどこういうことが起こるといふことかといふことを改めて実感するとともに、非常に先見の明のあるお話をされていたんだなという思いを強くしたところです。

まさに、先ほど斉唱させていただきました獣医師の誓い95年宣言にも、人と動物が共存できる環境ということがすでに謳われていたわけでございます。しっかりとヒューマン・アニマル・ボンドを大切にしながら、パンデミックをどのように防ぎ、また、発生後にはどう対処していくか、今からの大きな課題であると考え、同志の皆さんと共に自民党において議員連盟を立ち上げさせていただきますところでございます。

まだまだ学ぶべきことがたくさんあるわけですが、やはりこのワンヘルスの取組の重要性というのを一般の方にも広く理解していただくということが重要であるとして、G7の長崎保健大臣会合、そして、今般閣議決定された骨太方針にも明記されました。あまりなじみがないかもしれませんが、8月の予算の要求に先立って政府の施策の大きな方向性を決めるのが政府の骨太方針でございます。ここに一言入るか入らないか、これが予算等に大きく影響する文書でございます。先ほど藏内会長からご紹介いただきましたように、議員の先生方に本当にご尽力いただいて、ワンヘルスという文言を明記することができたわけでございます。

大事なことは今後、しっかりと活動を続け、予算等を継続して獲得しながら、この運動を広く展開していくことによって、皆様方の日々の活動が、さらにワンヘルスの推進に貢献できるように、われわれもお手伝いできたらと思っております。

先生方が、地元、そして現場でますますご活躍をされ、獣医師の役割を存分に果たしていただくと同時に、われわれもそのことが広く国民のご理解につながるよう努力をさせていただくことを最後に申し上げまして、お祝いのご挨拶にさせていただきますと思います。

本日は誠にありがとうございました。

〈自由民主党獣医師問題議員連盟会長代行 森 英介衆議院議員〉



ご紹介にあずかりました，自由民主党獣医師問題議員連盟の会長代理を務めております森英介です。麻生太郎会長が公務のため出席がかないませんので，代理でご挨拶を申し上げます。

日本獣医師会の総会が，こうして関係者の皆様方が一堂に会して盛大に開催されましたことを心からお喜びを申し上げます。また，私ども自由民主党の議員連盟もご紹介にあずかりましたことを，厚くお礼申し上げます。

獣医師の先生方におかれましては，産業動物であれ愛玩動物であれ，私たち人間が生きていくうえで不可欠な存在である動物たちの命と健康を守り育てるために，日夜それぞれの持ち場で並々ならぬご尽力をいただいております。深く敬意と感謝の意を表したいと思っております。

産業動物の分野で申しますと，昨今，各畜種とも感染症の発生が深刻な問題となっております，その対策が急務となっております。こうした状況の中で，生産者や行政の努力も不可欠であることは申すまでもありませんが，獣医師の皆様方の役割もいよいよ重要になってきていると感じます。

一方，愛玩動物に関しましては，個々の獣医師さん，そして日本獣医師会にとっての大問題だろうと思っておりますが，マイクロチップの登録の在り方をめぐる行政との調整が目下の最大の懸案事項であろうと考えます。本件につきましては，私ども議員連盟も全面的にご協力し，何とか適切な着地点を見いだしたいと考えております。

また，従来から貴会が重点目標とされております獣医師の地域的，あるいは職域的偏在の解消，獣医学教育の充実，公務員獣医師の処遇改善などの諸課題につきましても，わが議連としても貴会と心をつなげて，その実現に向けまして力を尽くしてまいりたいと思っております。

藏内会長が冒頭のご挨拶でお触れになったワンヘルスの理念，また，林外務大臣も大変それを評価されましたけれども，つとにこの理念を提唱された藏内会長の先見性には，私も敬意を表したいと思いますし，また，それが世界の潮流になってきたということも大変意義深いことと思っております。

この理念の推進につきましても，私どももできる限りのご協力を申し上げたいと思っております。

結びに，本日の総会を契機に，藏内会長の下，日本獣医師会がいよいよ発展されますこと，あわせまして関係者の皆様のご健勝，そしてご活躍を心から祈念をいたしまして，ご挨拶に代えたいと思っております。お招きをいただきまして，ありがとうございました。

〈公明党獣医師・動物看護師議員懇話会会長 古屋範子衆議院議員〉



皆様，こんにちは。ただいまご紹介いただきました，公明党副代表，また，議員懇話会会長をしております衆議院議員の古屋範子でございます。

今日は，日本獣医師会の第80回通常総会がこのように盛大に開催されましたことを，心からお喜びを申し上げます。

日頃より，希少動物の保護や動物愛護管理，また，獣医師会の発展に尽力されている皆様方に改めて深くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大し，約3年となります。感染症の恐ろしさが改めて浮き彫りとなりました。これは動物にとっても同様だと思っております。日本獣医師会の皆様が主導的な役割を果たされている，人と動物の健康と環境の保全を一体的に捉えて，分野横断的に連携をしていくワンヘルス，この取組が非常に重要であります。

新型コロナウイルス感染症を経験して，ポストコロナ対策として，人と動物の健康と環境保全を一体的に捉えて対処するワンヘルスの普及，また，実践が世界で注目をされております。

昨年11月，藏内会長がアジア獣医師会連合会長に就任されて，第21回アジア獣医師会連合大会が福岡で開催されました。大会のテーマが，アジアからのワンヘルス・アプローチということでございました。まさしくポストコロナの幕開けとして，日常生活や経済活動の再出発を期す記念すべき国際大会として，獣医師がワンヘルス活動の取組をアジアから世界に発信する機会となったと確信をいたしております。

これまで長年取り組んでこられました愛玩動物看護師の国家資格化が実現をいたしました。この春から，この愛玩動物看護師が各地の動物病院で働いていらっしゃる。獣医師との役割分担の連携の下で，高度かつ多様なチーム獣医療提供体制の構築が期待をされております。

さらに，昨年の6月から改正動物愛護管理法による犬猫へのマイクロチップ装着登録の義務化が実施をされております。新たな制度の誕生にはさまざまな混乱が起きていると思っております。獣医師の皆様には大変ご苦労をおかけしていると思っております。次回，法改正の際には，飼育者にとって利便性が高く，また，獣医師会の先生方，自治体も活用しやすい仕組として，マイクロチップの制度が発展するよう，この改革の取組を進めてまいりたいと思っております。

公明党といたしましては，日本獣医師会の皆様方のご意見を賜りつつ，人と動物が共生できる社会の実現に向けて，引き続き努力を積み重ねていく決意でございます。

結びに、日本獣医師会のますますのご発展、また、今日ご参会の皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。本日は大変におめでとうございました。

〈農林水産省 森 健消費・安全局長〉



ただいまご紹介にあずかりました、農林水産省消費・安全局長の森でございます。日本獣医師会の皆様には、日頃より、とりわけ家畜衛生の向上に関しまして大変お世話になっておりますこと、改めてお礼を申し上げます。

本来でございましたら、大臣出席の上、ご挨拶させていただくところでございますが、要務のため、恐縮ではございますが、私から大臣挨拶を代読させていただきたいと思っております。

公益社団法人日本獣医師会の記念すべき第80回通常総会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

本日、ご参集の皆様におかれましては、日頃より、動物衛生の向上、畜産業の振興や食品安全の確保をはじめとした、公衆衛生の向上に大きく貢献されており、深く敬意を表する次第であります。

昨シーズンは、高病原性鳥インフルエンザが過去に例のない猛威を振ったところ、全国の家畜保健衛生所の職員や開業獣医師の方をはじめとする多くの獣医師の皆様にご協力をいただき、感謝申し上げます。

また、豚熱についても、適時適切なワクチン接種や飼養衛生管理基準の遵守指導など、ご尽力いただいているところと承知しております。

農林水産省としても、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱等の家畜伝染病対策及び水際対策に万全を期してまいりますが、皆様方におかれましては、適時適切な獣医療の提供に引き続きご尽力いただくことをお願い申し上げます。

さて、本年5月のG7広島サミット共同声明では、ワンヘルス・アプローチの重要性が言及されました。貴会は、2016年には医師会と共に福岡宣言を发出され、昨年11月には藏内会長がアジア23カ国・地域の獣医師会会長として、アジアワンヘルス福岡宣言2022を締結されるなど、従前からワンヘルス・アプローチによる人獣共通感染症対策や薬剤耐性対策等に積極的に取り組んでいただいております。

政府としても、本年4月に関係閣僚会議で策定した新たな薬剤耐性対策アクションプランに基づき対策を推進していくところ、貴会にご協力いただいている愛玩動物の薬剤耐性調査を含め、引き続きご協力よろしく願います。

また、小動物の獣医療分野においては、本年4月に国家資格としての愛玩動物看護師が誕生したところですが、新たな制度の下、獣医師と愛玩動物看護師がチームとなり、より一層飼育者に寄り添った獣医療が提供されることを期待しております。

貴会においては、社会からの関心やニーズの高まりを踏まえ、愛玩動物の遠隔診療に関するガイドラインを策定するとともに、獣医療の広告規制改正の検討にご参加いただき、さらには、獣医師の専門性を認定する仕組の構築に積極的にご尽力されていると承知しており、重ねて感謝申し上げます。

本年6月2日には、総理を本部長とする食料安定供給・農林水産業基盤強化本部において、食料・農業・農村政策の新たな展開方向を決定したところですが、その取り組むべき施策の一つとして、産業動物獣医師の確保や遠隔診療等による適時適切な獣医療の提供が位置づけられました。これは、社会における獣医師に対する高い期待の表れであり、貴会の果たす役割の重要性はますます高まっていると感じております。

最後になりますが、貴会のさらなるご発展と、本日も列席の皆様方のますますのご健勝、ご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

令和5年6月27日、農林水産大臣、野村哲郎、代読でございます。本当におめでとうございました。

〈環境省 奥田直久自然環境局長〉



ただいまご紹介にあずかりました、環境省自然環境局長の奥田と申します。

本来でありましたら、西村環境大臣が出席させていただいて、皆様方にご挨拶を申し上げるべきところでございますが、諸般の事情で出席ができませんでした。どうぞご寛恕を賜ればと思います。西村大臣から挨拶を預かってまいりましたので、代読をさせていただきたいと思っております。

本日、日本獣医師会の第80回通常総会がこのように盛大に開催されることを、心からお祝い申し上げます。

藏内会長をはじめ、日本獣医師会の皆様方には、日頃より、希少野生動物の保護や動物愛護管理等、広く自然環境行政の推進に格別のご理解とご協力をいただいております。この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年に改正された動物愛護管理法が昨年6月に完全施行され、1年が経過いたしました。改正法の内容は、動物虐待等に対する罰則の強化、動物取扱業者が遵守すべき飼養管理基準の具体化、幼齢の犬猫の販売等の制限、販売される犬猫へのマイクロチップの装着と

登録の義務化など、多岐にわたっております。

日本獣医師会や獣医師の皆様には、長年にわたりマイクロチップの普及に大変なご尽力をいただけてきました。また、昨年6月に施行された犬と猫のマイクロチップ情報登録制度においては、環境大臣の指定登録機関として運営をともに担っていただいているところでございます。この制度の運用が始まり約1年がたち、犬と猫の登録数は着実に増えていますが、実際にはさまざまな課題が出ていることも承知しております。このため、日本獣医師会のご意見をお聞きしながら、また、真摯に協議を重ねさせていただきながら、できるだけ早期の改善を進めてまいりたいと考えております。これまでのご協力を改めて感謝申し上げますとともに、引き続きよろしくご協力をお願いします。

また、昨年5月1日に施行された愛玩動物看護師法を受け、本年4月に愛玩動物看護師が誕生いたしました。また、来年2月には第2回国家試験を実施する予定です。今後、愛玩動物看護師と獣医師の皆様とのさらなる連携により、愛玩動物に対する獣医療の高度化が進み、愛玩動物の適正な飼養が強化されることを期待しているところでございます。

このほかにも獣医師の皆様にはペットの適正飼養の啓発、希少な野生動物の疾病個体の救護、動物園における生息域外保全の取組、野鳥における鳥インフルエンザウイルスの検査対応など、各地域のさまざまな課題について多大なるご協力とご指導をいただいております。これらは、藏内会長がいち早く提唱してこられたワンヘルスの具体的な取組の一つでもあり、このように日本獣医師会と環境省との関係は年々幅広く、また、深くなってきているものと考えております。

環境省といたしましては、人と動物が共生する社会の実現に向け、今後とも努力を重ねてまいりますので、日本獣医師会の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、日本獣医師会の今後のますますのご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝を祈念申し上げて、私のお祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和5年6月27日、環境大臣、西村明宏、代読でございます。本当におめでとうございます。

〈厚生労働省 佐々木昌弘大臣官房医薬・生活衛生・食品安全審議官〉

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、生活衛生・食品安全審議官の佐々木でございます。

本来であれば、厚生労働大臣の加藤勝信がこの場に参って、藏内会長はじめ皆様に親しくお祝いの言葉を申し上げますとともに、先ほど来お話しいただいているG7長崎保健大臣会合の議長としてのご報告を差し上げるべ



きところがございますが、どうしても都合が付きません、調整が付きませんでした。私が、加藤勝信からお祝いの言葉を預かっておりますので、それを代読の形でご紹介したいと思います。

祝辞、第80回公益社団法人日本獣医師会通常総会の開催に当たり

りまして、ご挨拶を申し上げます。

貴会は、昭和23年の設立以来、長年にわたって人獣共通感染症や食品安全対策など、公衆衛生の向上に多大な貢献をしてこられました。この場をお借りして改めて感謝申し上げますとともに、これまでの貴会の取組に深く敬意を表します。

さて、近年、人獣共通感染症に対する社会的関心も高く、本年5月に採択されたG7長崎保健大臣宣言でもワンヘルス・アプローチについて触れたところでございます。ワンヘルス・アプローチは、人獣共通感染症対策や薬剤耐性、いわゆるAMR対策において重要であり、国内外の獣医師、医師などの関係者が、分野の垣根を越えて連携していくことが重要となります。

こうした中、貴会が地方獣医師会と連携してワンヘルス・アプローチの推進に率先して取り組まれていることに対し、深く敬意を表します。厚生労働省におきましても、貴会をはじめとする関係者や関係省庁との一層の連携を図り、人獣共通感染症対策やAMR対策に取り組んでまいります。

また、食品安全対策でも獣医師の皆様のご活躍が期待される分野であります。5年前、平成30年の食品衛生法の改正により、HACCPに沿った衛生管理の制度化、また、営業許可業種の見直し、営業届出制度や食品のリコール情報報告制度の創設などが行われ、2年前の令和3年6月から本格施行されています。また、と畜場及び食鳥処理場においては、HACCPに基づく衛生管理に加え、と畜検査員等による外部検証が義務づけられるなど、食品安全行政が大きく変わってきております。

さらに、農林水産物・食品の海外輸出に関しては、現在、政府が一体となって輸出の推進に向けた取組を進めております。特に、牛肉等の食肉は重要品目と位置づけられていることから、引き続き輸出される日本産牛肉等の安全性確保にしっかり取り組んでいく必要があります。

このように、人獣共通感染症対策や食品安全対策を進め、公衆衛生の確保と向上を図るためには、貴会の皆様、また、第一線で活躍されている獣医師の皆様のご理解、ご協力が不可欠ですので、引き続きよろしくご協力をお願いします。

結びに、貴会のますますのご発展と、本日お集まりの皆様の一層のご活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの

言葉といたします。

令和5年6月27日、厚生労働大臣、加藤勝信、代読、佐々木昌弘でございました。本日は誠にありがとうございます。

〈文部科学省 西條正明大臣官房審議官〉



皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、文部科学省大臣官房審議官の西條でございます。

この度、第80回日本獣医師会通常総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。藏内会長をはじめ、日本獣医師会会員の皆様方におかれましては、日頃より獣医学教育の充実、振興にご尽力いただいていることに、文部科学省といたしましても深く感謝申し上げます。

さて、文部科学省では、平成23年に実施されました獣医学教育の改善、充実に関する調査研究協力者会議において示された5つの改革工程に基づきまして、国際水準の教育の実現、家畜衛生、公衆衛生分野及び産業動物臨床分野の実践的教育の強化等、獣医学教育の改善に努めてまいりました。

昨今、産業動物獣医師及び公務員獣医師の減少が懸念されており、その養成確保が喫緊の課題となっていると認識しております。これまでも各獣医系大学において、家畜衛生、公衆衛生分野及び産業動物臨床分野で活躍する獣医師の養成に貢献すべく、日本獣医師会並びに家畜診療所、または家畜保健衛生所、食肉衛生検査所、保健所等の各施設のご協力をいただきながら、獣医学系大学の学生の診療参加型臨床実習及び体験型家畜衛生・公衆衛生実習の実施に取り組んできたところです。

文部科学省といたしましては、今後も外部実習受入施設の皆様方のご協力をいただきながら、診療参加型臨床実習等の外部実習の円滑な実施を推進してまいります。

ポストコロナ時代においては、パンデミック防止に向け、獣医師に対する社会の期待はますます高まっております。獣医学を学ぶ学生が高い能力を持った獣医師へと成長するためには、獣医師の皆様と大学が手を携えて実践的な教育を進めていくことが必要です。

日本獣医師会及び会員の皆様方には、引き続き獣医学教育へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、日本獣医師会のますますのご発展と、皆様方のご健勝をお祈り申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

〈公益社団法人 中央畜産会 姫田 尚副会長〉



皆さん、こんにちは。中央畜産会の姫田でございます。

まず、公益社団法人 日本獣医師会第80回通常総会開催、誠にありがとうございます。日頃から獣医師の皆様方、あるいは藏内会長をはじめとした獣医師会の皆様方には、私ども中央畜産会の事業

のみならず、畜産振興にご協力いただきまして、心からお礼を申し上げます。また、私どもの会長の森山 裕共々、お礼申し上げる次第でございます。

また、藏内会長のワンヘルスでの活躍、あるいは、FAVA でのご活躍について心から敬意を表する次第でございます。

さて、私ども畜産の世界で申し上げますと、燃油の高騰、配合飼料の高騰の中で、必ずしも価格が畜産物価格に転嫁できていない状況がございます。その中で、やはり経営指導、経営そのものを改善する中で、やはり農場 HACCP ですとか飼養衛生管理基準、そういった衛生状態の改善ということが非常に畜産経営に影響してまいります。

たとえば養豚においても、トップの生産者と最もレベルの低い生産者の間には相当、倍程度の生産コストの差がございます。それもやはり家畜衛生をどうやっていくかということとして、産業動物獣医師の皆様方、あるいは管理獣医師の皆様方のご指導というのが欠かせないのではないかなと考えている次第です。

産業動物獣医師の皆様方の家畜衛生、あるいは動物の疾病対策ということだけではなく、獣医師の皆様方に期待されるのは、経営そのものの指導、あるいは、私ども農場 HACCP をはじめとして、予防衛生をどう進めていくかということのご指導ではないかなと、私どもは考えている次第です。従来から経営をどう改善していくかということで、いわゆる経済的な指導を中央畜産会はしてきておりますが、むしろ、それよりもさらに衛生指導ということが重要になってくると思います。

また、あわせて、動物の衛生ということは、人間の畜産物の安全にもつながってまいります。国産の畜産物が安全ということは、必ずしも明らかではありません。やはり衛生管理、飼養衛生管理、それが重要になってくるのではないかなと。そのためにも、産業動物獣医師の皆様方のご活躍、ご指導が重要になってくると思っております。

また、私が食品安全委員会におりましたときに、海外のいわゆる FDA、ANSES、BfR、そして EFSA 参りますと、ほとんどの幹部の皆様方は獣医師でございます。必ずしもいわゆる経済学部や法学部を出た方々ではなくて、獣医師の皆様方がほとんどのそういった機関の幹

部をされております。

やはり獣医師の皆様方、現場でのご活躍も非常に大切ではございますけれども、やはり獣医師の皆様方は食品安全の分野においても指導的立場に立っていただき、さらに、いわゆる活躍の場を広げていただくこと、また、あるいは処遇の改善や地位の向上を図っていただくことが重要なことではないかと、私は考える次第です。

ぜひ皆様方のご活躍、そして地位の向上がわが国の畜産業の発展に、そして国民の食品安全の推進につながるのではないかなと思っております。これは、あわせてワンヘルスの中でのその大きな一つの要素になるのではないかと考えている次第です。

ぜひ皆様方のさらなる発展とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

【来賓の紹介】

駒田事務局長から来賓の紹介が行われた。

【賛助会員出席の披露】

駒田事務局長から出席の賛助会員の紹介が行われた。

【メッセージ及び祝電披露】

駒田事務局長からメッセージと祝電が披露された。

〈公益社団法人 日本医師会 松本吉郎会長〉

日本獣医師会第80回通常総会の開催に当たり、日本医師会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より全国の獣医師会の先生におかれましては、感染症予防や家畜診療、食の安全確保、薬剤耐性対策など、多岐にわたるご尽力をいただいております。心より感謝する次第でございます。

日本獣医師会と日本医師会は、人と動物の共通感染症の予防、抗菌剤の責任ある使用、医学・獣医学教育の改善整備についても積極的に取り組んできました。

2012年10月には、世界獣医師会と世界医師会は、動物由来感染症対策、食の安全向上のために協力関係を構築するための覚書を締結し、2013年11月に日本獣医師会、日本医師会の間で学術協力の推進のための協定書を締結しております。全国全ての地域の獣医師会と医師会との間に協定を締結するといった非常に緊密な連携のもと、感染症対策やAMR対策等の強化に取り組んできたところであります。

2016年11月には「第2回 世界獣医師会—世界医師会ワンヘルスに関する国際会議」を、福岡県で開催し、世界におけるワンヘルス活動の実践の礎となる「福岡宣言」を採択しました。また、藏内会長におかれましては、この福岡の地において、昨年11月9日にアジア獣医師

会連合（FAVA）代表者会議が開催し、FAVA新会長にご就任され、さらに、本年4月に開催された第38回世界獣医師会大会において、世界獣医師会長より「ワンヘルス特別賞」を受賞されました。

獣医師会と医師会の連携は日頃より固く行われており、毎年、連携シンポジウムや厚生労働省も交えての共催シンポジウム等を重ねているところであり、この度のFAVA新会長就任や受賞についても心よりお祝いを申し上げる次第です。

藏内会長のリーダーシップの下で、わが国のみならず世界におけるワンヘルスがより一層推進されますこと祈念するとともに、日本医師会も引き続き歩みを合わせて尽力してまいります。

さて、医学の歴史は感染症との闘いであったといっても過言ではありません。近年話題となったエボラ出血熱、SARS（サーズ）、MERS（マーズ）、新型インフルエンザ等と同様に、多くが人獣共通感染症とされています。そして、令和5年5月8日に、5類感染症に位置づけが変更された新型コロナウイルス感染症の防疫活動においても、密接に連携・協力を行ってまいりました。

この新型コロナウイルスなどの感染症のみならず、愛玩動物、家畜、野生動物等と人の双方に感染しうる人獣共通感染症については、その予防や、まん延防止のため、人の医療と動物の医療の両側からのアプローチが大変重要です。

日本医師会として、医療と獣医療とが一体となって、さらなるワンヘルス社会の構築に向けて取り組み、新型・再興感染症やAMR対策において、引き続き貴会との連携をより強固にして、さまざまな課題に取り組んでまいりたいと考えております。

結びとなりますが、本日お集まりの皆様とともに、貴会並びに獣医界のさらなるご発展を心よりお祝い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

令和5年6月27日 公益社団法人 日本医師会会長 松本吉郎

〈自由民主党副総裁 自由民主党獣医師問題議員連盟会長 麻生太郎衆議院議員〉

公益社団法人 日本獣医師会第80回通常総会のご盛會を祝し、心からお慶び申し上げます。

自由民主党獣医師問題議員連盟といたしましても、引き続き獣医師の処遇改善、犬猫のマイクロチップ登録制度の適正化、ワンヘルス実践活動の推進等に尽力いたす所存です。

藏内会長をはじめ、会員獣医師の皆様のご健勝と、貴会の今後ますますのご発展を祈念いたします。

自由民主党獣医師問題議員連盟会長 自由民主党副総裁 衆議院議員 麻生太郎



永年勤続表彰

その他、次の皆様からの祝電が披露された。

- ・衆議院議員、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会幹事長 中野洋昌先生
- ・株式会社安田システムサービス代表取締役 吉田雅俊様
- ・損害保険ジャパン株式会社代表取締役社長 白川儀一様

【獣医師会職員永年勤続表彰】

獣医師会の永年勤続職員に対して次のとおり表彰が行われた。

- ・40年勤続表彰
金子芳子（神奈川県獣医師会）
- ・20年勤続表彰
伊東明子（青森県獣医師会）

【議長・副議長選出】

会長が仮議長となり、「仮議長一任」の声を受け、次の2名を議長・副議長に選出した。

- 議長 笠松豊乗（山梨県獣医師会会長）
- 副議長 安食政幸（鳥根県獣医師会会長）

【議 事】

議長により次のとおり議案審議が進められた。

《第1号議案 令和4年度事業報告の件》

- 1 境副会長兼専務理事から令和4年度事業報告について、重点事項のみ説明された。
- 2 質疑応答として、マイクロチップについて、進捗状況についての質問があり、法改正も含めた議論を行っている旨の説明がされた後、異議なく了承された。

《第2号議案 令和4年度決算の件》

境副会長兼専務理事から計算書類の重点事項のみ、説

明され（別記1. 令和4年度正味財産増減計算書）、その中で柴山監事からの決算監査報告（監査講評は本誌第76巻第8号365頁参照）が大要次のとおり行われた後、異議なく承認された。

〔決算監査報告〕

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査したところ、事業報告等の監査結果として、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しており、理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。また、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示している。

《第3号議案 令和5年度事業計画の件》

《第4号議案 令和5年度予算の件》

- 1 第3号議案、第4号議案は関連議案として一括上程され、境副会長兼専務理事から令和5年度事業計画（案）（別記2. 令和5年度事業計画）及び収支予算（案）（別記3. 令和5年度収支予算）について、昨年度と大きく異なる事項等について説明された。
- 2 個別重要課題に対する事業運営について、勤務獣医師の処遇と職場環境の改善、女性獣医師の活躍に関する対応はまとめて議論されてしまうと、それぞれの関心が薄くなってしまふことから別々に議論していただきたい旨の意見があった。
- 3 FAVAと日本獣医師会との関係についての質問があり、日本獣医師会はFAVAの会員であり、福岡に設置されたFAVA事務所と連携をして進めていきたい旨の説明がなされた。
- 4 マイクロチップに関し、狂犬病予防法の特例、いわゆるワンストップサービスについて、今後どのような見直しが行われるのか質問され、現状の課題を改善し、使いやすい仕組とするよう要請を続けている旨回答された。

《第5号議案 令和5年度会費及び賛助会費の件》

境副会長兼専務理事から令和5年度会費及び賛助会費について説明が行われ、異議なく承認された。

《第6号議案 役員選任の件》

境副会長兼専務理事から、役員定数、任期、候補者の公示期日、選任方法について説明された後、令和5年度第1回理事会で選任された役員候補者名簿が示され、候補者1人ずつ承認が諮られ、全員が異議なく承認された。

【理事候補者】

上野弘道（東京都獣医師会会長・東京地区理事）
宇佐美晃（茨城県獣医師会会長・関東地区理事）
小山田富弥（青森県獣医師会会長・東北地区理事）
戒能 豪（愛媛県獣医師会会長・四国地区理事）
加地祥文（日本食品衛生協会常務理事・公衆衛生職域理事）
片岡辰一郎（東京都家畜保健衛生所所長・家畜防疫・衛生職域理事）

草場治雄（福岡県獣医師会会長・九州地区理事）
藏内勇夫（福岡県議会議員・会長）
栗本まさ子（日本乳業技術協会前代表理事・副会長）
佐伯 潤（大阪府獣医師会会長・動物福祉・愛護職域理事）
境 政人（専務理事）
佐藤れえ子（岩手大学名誉教授・学術・教育・研究職域理事）

砂原和文（秋田県獣医師会会長・副会長）
高島一昭（鳥取県獣医師会会長・中国地区理事）
立川文雄（大分県獣医師会会長・産業動物臨床職域理事）
田村 豊（北海道獣医師会会長・北海道地区理事）
鳥海 弘（神奈川県獣医師会会長・副会長）
西山治生（三重県獣医師会会長・近畿地区理事）
森 尚志（京都市獣医師会会長・小動物臨床職域理事）
山田有仁（静岡県獣医師会会長・中部地区理事）
横尾 彰（共済薬事専務取締役・家畜共済職域理事）

【監事候補者】

市川陽一郎（千葉県獣医師会会長）
佐々木一弥（岩手県獣医師会会長）
柴山隆史（滋賀県獣医師会顧問）

【議長・副議長の退任挨拶】

議長・副議長から退任に際して円滑な審議へのお礼が延べられた。

【日本獣医師連盟 小松泰史副委員長挨拶】

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、日本獣医師連盟副委員長の小松でございます。

本来であれば、北村委員長がこの場にて皆様にご挨拶、ご報告をするところですが、健康上の理由で欠席となりました。ここに北村委員長から皆様へのご挨拶を預かってまいりましたので、代読させていただきます。

日本獣医師会第80回通常総会が、多くの皆様のご出席の下で盛大に開催されることをお祝い申し上げます。

日頃より、本日、ご臨席の地方獣医師会会長をはじめとする会員の皆様方には、獣医師連盟の活動に特段のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

3年以上もの間、人類の生命を脅かし、社会、経済に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症もよう

やく沈静化いたしました。人獣共通感染症である本疾病の感染拡大に伴い、獣医師が先進的に取り組んできたワンヘルスの理念がクローズアップされる機会となりました。

そのような中、昨年11月には福岡県において、第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会が「アジアにおけるワンヘルスアプローチ」をテーマに、19カ国から約2,500名の参加者を得て成功裏に開催されました。それに先立って日本獣医師会の藏内会長は、アジア獣医師会連合（FAVA）の会長に就任され、ワンヘルスの実践活動を日本国内はもとより、さらにアジア、世界に拡大していられることになりました。

また、3月13日には自由民主党ワンヘルス推進議員連盟が設立され、さらにG7広島サミットに先立って開催されたG7長崎保健大臣会合においては、その会合の成果であるG7長崎保健大臣宣言の中でワンヘルスが取り上げられる等、ワンヘルスの取組が国内の政治・行政に、さらに国際政治の舞台においても最重要課題の一つとして取り上げられるようになりました。

そして、その中心的な役割を担っている獣医師に対する社会的な期待及び要請はますます高まっています。この機を捉え、国民の生命と健康維持に取り組む獣医師の処遇改善及び獣医療提供のためのさらなる環境整備について引き続き取り組んでまいります。

さらに、皆様の長年の努力により、ようやく法制度化された犬・猫のマイクロチップの登録制度については、遺憾ながら私たちが期待していたものとは全く異なるものとなりました。本連盟としましては、地方獣医師会及び会員構成獣医師が参画するAIPOの仕組みを活用し、飼い主など国民に喜んでいただける登録制度への抜本的な改善を目指して、関係する国会議員の先生方に一日も早い動物愛護管理法の改正を要請しているところです。

本日は、この後、本連盟の役員会において新たな役員が選出される予定です。新体制の下でわれわれ獣医師の視点、そして国民の視点から、地方獣医師連盟・日本獣医師連盟が地方獣医師会・日本獣医師会と連携しながら、車の両輪となって課題解決に取り組んでまいりますので、何とぞご協力のほどをよろしくお願いいたします。

結びに、日本獣医師会及び地方獣医師会のますますのご発展、本日もご参会の皆様方をはじめ、会員構成獣医師の皆様のご健勝を祈念し、日本獣医師連盟からのご報告とさせていただきます。

令和5年6月27日、日本獣医師連盟委員長、北村直人、代読。ありがとうございました。

【閉 会】

駒田事務局長から第80回通常総会の閉会が告げられ、こののち別室にて新役員による第3回理事会を開催し、

代表理事、執行理事を決定し、その結果はこの会場で発表する旨説明された。

【役員選定結果等】

専務理事に選任された境理事から、今期の会長、副会長、地区選出理事、職域選出理事、監事が読み上げられた（351ページ参照）後、藏内会長から顧問として酒井健夫氏及び村中志朗氏が就任された旨報告された。

【会長就任挨拶】

新しく就任した役員を代表してお礼とご挨拶を申し上げます。

本日、第80回通常総会で、われわれ満場一致で選任いただき、先ほど第3回理事会において引き続き私が会長に就任させていただくこととなりました。皆様に改めてお礼申し上げます。

さらに、顧問につきましても、酒井健夫先生、村中志朗先生にはご無理を申し上げて就任いただきました。

特に村中先生には、顧問として、これまで取り組まれてきた危機管理対策、小動物関係の課題について特命として取り組みいただくことを期待し、顧問の就任をお願いしたところです。

また、総会の中でも来賓のご挨拶にもありましたが、今後、女性の力を職場に還元し、能力を発揮していただける社会の実現がわが国の重要課題であります。これまで女性獣医師担当の特任理事として本課題への取組を牽

引していただいた栗本理事を副会長として指名し、本課題に引き続き取り組まれることをご承諾いただきました。栗本副会長、よろしくお願いたします。

マイクロチップにつきましては、ご心配とご迷惑をおかけしておりましたが、今期も会長を引き受けましたので、この2年間で登録手数料の改訂、抜本的な登録制度改善の方向性をお示したいと考えております。

つきましては、理事の皆様、本日ご出席の地方獣医師会長、獣医師会関係者、事務局の皆様のご協力を心からお願い申し上げる次第です。

ワンヘルスにつきましては、人と動物、環境の健康を守ることはわれわれにとって重要な課題ですが、一方で獣医師として社会的地位を向上させたいと考えております。

われわれはワンヘルスの実践に取り組むことで獣医師が医師以上の役割を果たしていることを証明することができました。

われわれの取組が社会に広く理解され、世界でも取り上げられること等を通じて、日本獣医師会の発展に寄与していきたいと考えております。

そして、これまで以上に日本獣医師会、地方獣医師会、日本獣医師連盟が三位一体となり、日本獣医師会の発展、あるいは課題解決に尽力してまいりたいと考えておりますので、皆様方のこれまで以上のご指導ご支援を心からお願い申し上げ、会長就任の挨拶、お願いに代えさせていただきます。